

Q1 悪液質症候群と胃ろうについて

【回答】

悪液質症候群とはさまざまな機能障害・代謝異常により体重減少（筋肉量減少）、食欲低下などの症状をもたらす合併症です。進行がんだけではなく心臓病・腎臓病・慢性閉塞性肺疾患などでも起こることがあり、がんが原因のものを「がん悪液質」と呼びます。体力がなくなってくると栄養や水分を受け止める力も弱くなり無理に栄養や水分を入れると受け止められず（栄養回復されず）、それが逆に身体への負担（全身浮腫、胸水・腹水貯留など）になることがあります。どのような病状だったか詳細は分かりませんが、点滴で栄養補給をされていたようであり栄養経路を変更（胃ろうへ変更）してもそれほど効果に違いはなかったように思われます。また食事が摂れない原因はいろいろありますが終末期での悪液質症候群が原因であればどのような経路での栄養補給を行ったとしても栄養回復は難しかった可能性はあります。（悪液質にも重症度により3つのステージがありステージによっては栄養療法も効果ありますが全身状態が悪く予想される生存期間が短ければ栄養療法の効果は見込めません）

Q2 厚生病院ではない（米子や鳥取などの）病院で診療中でも厚生病院のがん相談センターは利用できますか。

【回答】

他院通院中の方も、誰でも、厚生病院のがん相談支援センターを利用することができます。また、厚生病院以外のがん相談支援センターも、どなたでも利用できます。遠慮なくご相談ください。

Q3 がん保険は必要だと思いますか。

【回答】

一般論となりますが、がんにかかる確率、がんでお亡くなりになる確率を考えますと、いざという時のために（保険はなんでもそうですが）保険に入っておかれれば特に経済面では大変役立つように思います。